

いろいろな方々が関わっています

三ツ又沼ビオトープに残された荒川の貴重な自然を守るために、
いろいろな方々が三ツ又沼ビオトープに関わっています。

河川環境の今に触れ、その未来を考える

高校生環境学習講座

7月28日、8月17日に埼玉県総合教育センター江南支所の主催により、埼玉県内の高校生を対象とした環境学習講座が実施されました。

ワークショップでは、荒川の課題や三ツ又沼ビオトープで活動するサポーターの想いを聞いて、参加した高校生から、荒川の自然の大切さと課題を流域市民に「伝える」ことが重要であるとの問題意識が高まり、伝えるための様々なアイデアが出されました。埼玉大学の学生有志も高校生の話し合いに加わりました。



埼玉大学の学生と意見を交わす高校生



班ごとにまとめた意見を発表

みんなで話し合っています

保全調整ミーティング

10月2日、三ツ又沼ビオトープの自然を守り育てるために、環境団体やサポーターが集い、8-9月の保全管理の報告やこの夏の三ツ又沼ビオトープの様子などについて話し合いを行いました。



一般傍聴も可能な開かれた会議



【三ツ又沼ビオトープ】

上尾市と川越市、川島町のさかい目にある、荒川の豊かな自然が守られている場所です。いつでも、だれでも自然に親しむことができます。

【環境サポーター大募集！】

自然を守る作業や自然学習の指導をする「あらかわ市民環境サポーター」を募集しています（荒川上流河川事務所内のサポーター事務局にて登録）。

地域の自然を守るためには、地域の方の力が欠かせません。自然が好きな方、荒川が好きな方、体を動かしたい方、いろいろな人と交流したい方、ご連絡をお待ちしています！

荒川ハンノキプロジェクト & 荒川の草花を育てようプロジェクト

荒川ハンノキプロジェクトは、埼玉県の蝶「ミドリシジミ」のために、三ツ又沼ビオトープにハンノキの林を取りもどすプロジェクトです。荒川の草花を育てようプロジェクトは、外来植物*が増えるのをおさえるために、三ツ又沼ビオトープ周辺にもともと生えていた野草を増やす取り組みです。サポーター事務局では、この取り組みに参加する企業・団体・学校を募集しています。

*外来植物：外国から日本に持ちこまれた植物

川島町立出丸小学校と上尾市立太平中学校 科学部の皆さんが、荒川の自然に関する環境学習を行いました。

三ツ又沼ビオトープの課題を知る

9月29日、これから調べ学習を行う出丸小学校5年生を対象に講話を行いました。サポーターから三ツ又沼ビオトープの課題となっている外来植物の繁茂や保全管理の人手不足について話題提供しました。

今後、子どもたちがどんな解決策を考えられるか楽しみです。



三ツ又沼ビオトープの生態系ピラミッドについて説明

川島町立 出丸小学校



500円玉サイズのアカミミガメ（通称ミドリガメ）が約30cmに成長すると知って驚く児童

三ツ又沼ビオトープで汗を流す！

7月31日、三ツ又沼ビオトープの自然をより良くするため、外来植物のセイタカアワダチソウやオオバタクサ（共に北米原産）などの抜き取り作業を行いました。

立っているだけでも汗が噴き出るような暑い日でしたが、協力して作業を進めました。



固まって生えているセイタカアワダチソウを抜く



抜き取った外来種は袋づめて処分

行ってみよう！ やってみよう！ 落ち葉を踏みしめて

冬に向かう三ツ又沼ビオトープでは、落ち葉が降り積もり、ふかふかな小道ができます。ドングリもたくさん見つかります。この小道の植物の管理を、サポーターや学校、団体の皆さんが行っています。

学校や企業、団体で自然観察会や自然を守るための活動がしたい！という方は、サポーター事務局までご連絡ください。活動のお手伝いをいたします。

